

主な京都府内外の調査・視察報告等

～各施策、事業等に活かしてまいります～

2017/7/11,12



○岐阜県東白川村 / 地場産木材関連事業「フォレストスタイル」



○飛騨市古川町 / アニメ活用のインバウンド事業

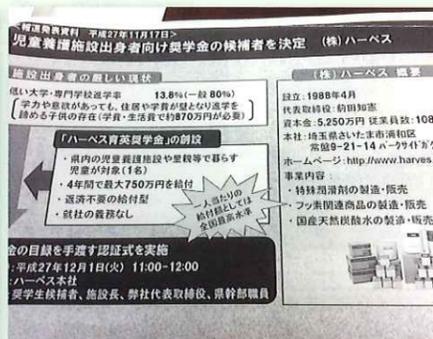


○郡上市 / 鳥獣対策、「けもの塾」

2017/8/1



○東京都 / 国立教育政策研究所 高校中退者対策



○埼玉県 / 埼玉県福祉部 児童養護施設退所者ケア施策

2017/8/24



○亀岡市 / 農林水産技術センター スマートフォン活用の稲作

2017/11/6,7



○石川県 / 千枚田ポケットパーク 世界農業遺産認定による地域活性化策



○群馬県高崎市 / 鳥獣被害対策の為に人材育成

2017/11/16



○茨城県取手市 / 「起業家タウン取手」



○茨城県つくば市 / 農業法人「みずほの村」



SMILE

スマイル

府議会議員北岡ちはる活動報告

2018.3.15 通巻No.-41

【北岡ちはる事務所】

京都市左京区北白川山田町10-1

Tel 075-702-9400

Fax 075-723-6600

【安心・安全、共生社会づくりに向けて】

新年度を迎える季節となり、皆様にはますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

自然災害に見舞われる頻度が年々増加しております状況下、災害における安心・安全の府政推進をはじめ、人と人が支え合い、お互いを尊重し合える「共生社会」づくりに向け、尽力いたします。次年度も現地現場、皆様のお声を大切に活動して参りますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



府議会議員 北岡 ちはる 揮

2月定例府議会 2/5～3/12

平成30年度当初予算(骨格予算) 予算特別委員会委員として審議。求めてきた事業も多く盛り込まれました。

☆「共生社会」実現に向けた施策を重点に、深刻化している中小企業の就労・定着支援。

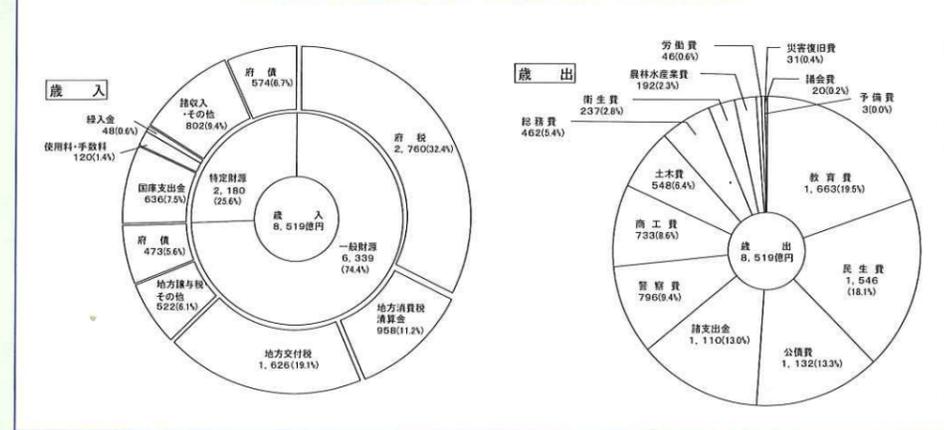
「明治150年」関連施策、台風被害の復旧・復興等と防災・減災対策等が計上。

☆平成29年度2月補正予算として、低所得者世帯等の生徒の高校進学に係る経費「高校生入学準備支度金事業費」の新規提案がされ、入学後に支給していたものを入学前年度に支給。(予算額4,666万円)

☆左京区をはじめ京都市内の主な関連事業

- 農地侵入有害鳥獣緊急捕獲事業
- 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業(京福電鉄、叡山電鉄)
- 京の川づくり、公園整備事業(鴨川)
- 府営住宅修繕等費
- 林道改良事業(久多尾超線)
- 保育所等運営費府負担金
- がん医療体制整備推進事業費
- 母子家庭等自立支援事業
- 認知症総合対策費
- 第3子以降保育料無償化事業費
- 新・地域包括ケア総合交付金
- 伝統的業催事補助金
- 商店街創生センター総合支援事業費
- 原子力災害防災対策費
- 1まち1キャンパス事業費
- 四季の彩り事業費(植物園)
- 地域ビジネスサポート推進事業 他

平成30年度当初予算一般会計歳入・歳出の状況



1. 4期16年の府政運営について

～これまで北岡が取組み、提案してきた事を基に質問～

①「子どもに優しい施策」 知事はこの間、子どもを温かく見守り、育む施策を府政の重要課題の一つに位置付け、子育て支援や子どもの貧困対策、私学振興や教育施策を強力に推進し、平成30年度当初予算案にも「きょうとこどもの城事業」の充実や医療的ケア児の支援強化などを推進。4期16年を振り返り、京都の未来を担う子ども達に対する様々な施策の成果についての評価は？



②「女性の活躍支援」 * 知事は就任直後に女性政策監のポストの新設や一期目に京都府男女共同参画推進条例を制定。その後も女性チャレンジオフィスやマザーズジョブカフェの設置、性暴力被害者ワンストップ相談支援センター（京都SARA）や京都ウィメンズベースの開設など、女性の活躍支援や女性の立場に寄り添った施策を推進。これら女性に優しい施策に対する評価は？

* 女性が輝ける社会の実現に向け、京都府が重点的に取り組むべき課題や施策については？

要望→子ども達を社会の宝として大切に思い、少子化対策の充実や子どもの貧困の再生産を許さないとの思いと共に、女性の活躍支援に対する知事の思いを引き継がりたい。

③「雇用問題」 * 就職氷河期に非正規で働いた若者が、そのまま歳を重ね、所得面から結婚やその後の出産というライフステージの形成に大きな障害を残すなど、雇用問題は、景気の状態による変化はあるものの、人生設計に繋がる重要な課題と考えるが、これまでどのような基本理念に基き、施策を展開してきたのか？

* リーマンショック後の厳しい雇用状況の中、規制緩和や縄張り意識の打破を目指し、国に様々な提案を重ね、国（労働局）、経営者団体（京都経営者協会）、労働団体（連合京都）といった雇用に関わる各種団体の力を結集したオール京都体制で取組が進むべく体制を変革した。

その結果、今につながる大きな成果（京都ジョブパーク等）が生まれたと考えるが、それら評価は？

* 雇用問題は ALL FOR ALL であり、多様な方々が社会参加出来るよう取組んできたと考えるが、今後どのような課題があるのか？

2. 時代に応じたサイバー攻撃対策について

① サイバー攻撃は、近年、国内外において政府機関等に対する被害等が問題となっており、2016年リオオリンピック大会でも同大会や政府機関の Web サイトが攻撃の標的となった。京都は世界有数の観光都市で、大学や先端技術を有する事業者も多い。東京オリパラ大会を控え、サイバー攻撃対策について、体制を含め、どのように取り組んでいるのか？

② 2009年時点でインターネットに自立接続できるIoT機器は9億個だったが、2020年には300億個500億個にもなると言われている。驚異的な経済効果が期待される一方、サイバーセキュリティにも目を向ける必要がある。IoT機器が、サイバー攻撃に悪用される恐れが指摘される中、こうした現状を踏まえた具体的取組み状況はどうか？

要望→近時、ICT・IoTの活用が進められており、京都府の地域性特色を生かし、大学、企業、研

究機関と連携し、最新の技術開発が進展することを期待し、その先進的な技術が様々な地域課題の解決に繋がることを真に願っているが、一方で、様々な被害を想定し、安全性を確保する対策を講じること。

[平成29年台風21号被害に係る対応]

昨年、10月22日深夜から23日未明にかけて京都府に接近した台風21号は、京都府全域で強風や豪雨により、大小河川の氾濫による床上・床下浸水をはじめ、土砂の崩落や倒木などによる交通の寸断、更には農林水産業や商工業への影響も甚大となりました。我が議員団として、現地に赴き、知事に支援要望書を提出いたしました。被災されました皆様には、改めて衷心よりお見舞い申し上げますと共に、今なお、被害の復興途中にある地域の皆様には、引き続き、寄り添い支援に努めて参ります。

10月23日早朝の左京区北部、一部地域の被害状況

関係機関への連絡等の対応を行いました。



※強風による倒木、停電、家屋の倒壊、ビニールハウスと農作物等の農業被害、等の甚大な被害が発生。行政は勿論、消防団員さんをはじめ、地域の皆さんが連携して復旧にあたって頂きました。

農商工労働常任委員会をはじめ、各委員会における北岡の主な質疑より

○農林業家の台風被害復旧支援について 京都市と連携し、府の各支援策について周知を徹底し、実情に即した対応となるよう、親切丁寧に実施すべき。

○ハートフル企業の推進 障がい者雇用促進・定着に向け、支援の在り方を分かりやすいフロー図を作成する等、支える機関や人を明確にする工夫を求め。

○「連携協同型農村コミュニティ」事業の推進 大学生と地域のマッチングを旨く図っていく事が重要。各地域における先進、成功事例を基に展開することが必要。

○北山文化環境ゾーン整備について

* 「ICOM 京都大会」開催に向け、植物園をはじめ、積極的に関わっていくべき。

* 旧総合資料館の跡地利用の方針を早期に示すこと。

* 植物園内の受動喫煙対策を評価。植物園正門の整備を要望。

○犯罪被害者支援について 犯罪被害者支援ノート「つむぎ」を関係機関のみならず、職員研修に活用を検討すべき。

○京都府男女共同参画推進条例について 時宜にかなった審議会の在り方を。

